

第2回

東北大学 Networking Evening

東北大学ではオープンイノベーション戦略機構の発足を契機に、創発のための企業と大学の交流の場として、「東北大学 Networking Evening」を開催して参ります。東北大学からのプレゼンテーションの後に、フリーディスカッションの時間を設け、業界・専門分野を越えて、気軽に自由闊達に語り合える会を目指しております。多くの企業の方にご参加いただき、この機会をご活用いただければ幸いです。

日時

2019年5月16日(木)
16:30-17:40 (受付開始16:15)

題材

拡張性DDSプラットフォームによる長持続性薬物徐放デバイスの開発

会場

日本橋ライフサイエンスハブ 8階 B会議室
東京都中央区日本橋室町1-5-5

事前
登録制

メールタイトルを「**5月16日Networking Evening申込**」とし、
①氏名、②所属、③役職、④連絡先(電話など)をご記入の上
「oi-event@grp.tohoku.ac.jp」宛にメールにてお申込みください。
※参加費は無料です。

受付

お申込み多数の場合、会場収容人数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。当日、受付にて御名刺2枚をお預かりさせていただきます。

主催 : **東北大学オープンイノベーション戦略機構**
<https://oi.tohoku.ac.jp/>



拡張性DDSプラットフォームによる長持続性薬物徐放デバイスの開発

東北大学大学院医学系研究科 附属創生応用医学研究センター 細胞治療分野 助教 永井展裕

東北大学は様々な薬物や疾患に対応可能な拡張性DDSプラットフォームの開発に取り組んでいます。先行開発中のウノプロストン徐放デバイスは、確立された治療法のない難治性疾患の網膜色素変性症の治療を目的に、非臨床POCを取得し治験実施の妥当性を議論中です。これは光硬化性樹脂をアーチ状に成型したカプセルを眼球上に1年間留置するという、新しい投与経路の提案です。

この新規DDSデバイスは低分子から高分子まで様々な薬物を搭載可能で、かつ複数の薬物を同時に搭載できるなど拡張性が高いこと、カプセルやペレットなど自由な成型が可能なのが特徴です。この特性を活かし、加齢黄斑変性症治療への応用、さらには埋植部位の異なるインスリンや抗がん剤の徐放による他の疾患への応用も検討しています。本研究は、この拡張性DDSプラットフォームの応用性を幅広く検討し、有効な治療法が確立されていないアンメットDDSニーズを充足することを目指しています。

アクセス

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線
「三越前」駅より直結
- JR総武快速線
「新日本橋」駅より直結
- JR山手線・京浜東北線・中央快速線
「神田」駅 南口より徒歩9分
「東京」駅 日本橋口より徒歩9分

<https://www.link-j.org/access/>

お問い合わせ先

- 東北大学オープンイノベーション戦略機構
- 担当： 谷津、谷口、大島、田谷
- Email：oi-event@grp.tohoku.ac.jp



主催：東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>